

令和4年第2回北海道議会定例会 一般質問 開催状況（経済部観光局）

開催年月日 令和4年6月22日  
 質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員  
 答弁者 観光振興監

質問要旨	答弁要旨
<p><b>六 観光施策の安全対策について</b>  <b>(一) 安全確保に係る道独自の対策について</b>                      (菊地議員)</p> <p>知床半島沖で26人が乗った観光船「KAZU1」が沈没し、現在も12名の方が行方不明のままとなっている。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げるとともに、行方不明の方々の一日も早い発見を心より祈念申し上げます。</p> <p>運行会社「知床遊覧船」のずさんな運行管理とともに、それを見抜けなかった国の姿勢も問われている。</p> <p>知事は我が会派の質疑に対し「国の事故対策検討委員会の検討状況を見据えながら安全確保の取組を伝える」と答弁したが、国の検討状況待ちにせず、道として安全確保のために独自の対策を講じる必要性をどう考えているのか。</p> <p>また、国交省は事故を受けて「救命いかだ」を安全基準に加えることを検討していると報道されたが、一刻も早く道として国の検査体制の強化や対策強化を求めるべきと考えるが、いかがか。併せて伺う。</p>	<p>(観光振興監)</p> <p>観光船の安全確保に係る道独自の対策についてであります。現在、国の「知床遊覧船事故対策検討委員会」において、安全対策の総合的な検討が進められているが、道では、夏の観光シーズンを目前に控え、観光客の皆様安心して道内観光を楽しんでいただくため、国や関係団体と連携しながら、各旅客船事業者を訪問し、安全対策の取組を発信するための働きかけを行ってきたほか、地域の観光協会や全道の旅客船団体が実施する安全な旅の提供に向けた取組などを広く全国に発信する活動等に対し、緊急的な支援を行うこととしたところでございます。</p> <p>道では、今回のような痛ましい事故が二度と繰り返されることのないよう、国に対し、早急な原因究明とともに、事業者の実情を踏まえた安全対策の検証を行うよう、要請してきたところであり、今後とも、検討委員会の検討状況を見据えながら、国に対し、安全対策の徹底を求めてまいります。</p>